

## 地域・家庭・学校で子どもを育てる～六合地区PTA連絡協議会の取組～

### 取組 概要

子ども、保護者、教職員の減少の中、六合地区PTA連絡協議会（六P連）と、地域住民が強固な連携のもと取り組む教育活動が充実している。

### 取り組みの詳細

#### 六P連事業 「デンマーク体操講演」

毎年、六P連の事業として六合地区の園児、児童・生徒、保護者、教職員とともに交流事業を行っている。保護者・教職員減少の中でも、六P連として運営や準備を協力することで、充実した交流事業を行っている。

R6年度は、「デンマーク王国ボーリング体育学校」の生徒を講師に迎え、交流事業を行った。



#### 地域と連携した教育活動の強化 「かいこの育成」「陶芸教室」

六合地区赤岩にある「かいこの家」から蚕をもらい、こども園で飼育し、できた繭を使って、作品を作っている。蚕の食べ物や繭の管理の仕方、座繰りの操作方法などを地域の方に教えてもらい、年長児が年少児に教えるなど、こども園の全員で大事に飼育し、製作に活用している。

地域のものを使って何か思い出に残るものができないかという願いから、地域に住む陶芸家が講師となり、年長児の卒業製作として親子で毎年取り組んでいる。



#### 六合地区が一丸 六P連・地域で取り組む「運動会」

子ども・保護者・教職員の減少に伴い、合同運動会を六P連が協力して実施している。競技中は小・中学校の保護者は準備、こども園の保護者は見守り、教職員は行事の進行と活動に専念するなど、PTAの役割を明確にして行っている。地域の方もグラウンドの除草作業を一緒に行っている。



### 成果

- ・六P連事業として、親子で参加できる講演会や観劇などを実施することで、こども園の保護者や園児・小・中学校の保護者や、児童・生徒、教職員と触れ合うことができ、繋がりを深める機会になっている。
- ・地域の方や保護者との繋がりを意識した教育活動を進めていることで、六合地区全体で子どもを育てようとする意識の醸成につながっている。

### 課題や今後の取り組み

- ・R8年度からの六合中学校の休校に伴う、今後の六P連の運営や活動について計画する必要がある。
- ・幼保一体化施設であるが、現在は全員保育園在籍の園児である。働く保護者支援の点から活動内容を縮小している。

### その他の取り組み紹介

- ・園児数の減少に伴い、保護者の要望から年会費を増額し、活動を充実させている。
- ・園・各校の活動の様子を合わせた「くにつこカレンダー」を月1回作成し、保護者に配布したり、公共施設に掲示したりして、六合地区全体に活動が周知できるよう、広報を工夫している。

## 主な活動実績

園・小・中学校PTAによる六合地区PTA連絡協議会と地域との強固な連携体制が形成されており、地域全体で子どもの健全育成と家庭教育の向上を図っている。

### 基礎情報

団体名

中之条町立  
六合こども園PTA

全校児童・生徒数

9名

学校の特徴

こども園・小・中学校の園児・児童・生徒あわせて約40名ほどの六合地区は、小規模ならではの特徴を生かして、各校や家庭・地域と強固な連携のもと、様々な教育活動が行われています。

こども園は全員で9名ですが、明るく元気いっぱい、多くの自然の中で、伸び伸びと活動しています。

組織構成

#### 【六合こども園役員】

会長：1名（保護者）  
副会長：1名（保護者）  
書記：1名（教職員）  
会計：1名（教職員）  
監査：1名（保護者：非本部役員）  
顧問：1名（園長）

#### 【六P連役員】

会長：1名（保護者）  
副会長：2名（男1女1保護者）  
書記会計：1名（会長校の教頭）  
監査：2名（こども園保護者）  
顧問：4名（前会長・小・中学校長・園長）  
※会長・副会長は小・中学校の保護者が隔年で担当する